

モデルマウスを用いた糖尿病やNASHを緩和する機能性成分の評価

室富 和俊（むろとみ かずとし）脳機能調節因子研究グループ

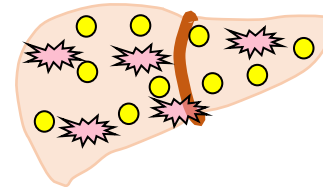
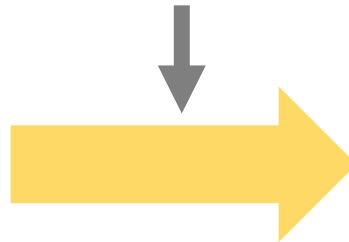
POINT

1. 症状が軽度な糖尿病やNASHを発症するモデルマウス
2. 個体を用いた総合的な症状の判定や作用機序解析が可能
3. 糖尿病やNASH症状を緩和する機能性成分の評価が可能



糖尿病・NASHモデル

機能性成分



評価項目

- 肥満
- 高血糖
- 脂肪肝
- 酸化ストレス
- 炎症
- etc...

主な研究業績

- K. Murotomi *et al.*, J Agric Food Chem. 63(30), 6715-6722 (2015)
- K. Murotomi *et al.*, Sci Rep. 6, 22476 (2016)
- K. Murotomi *et al.*, J Funct Foods 56, 303-311 (2019)
- 特開2016-132657, 特開2017-119641